

## 第 12 章 多発性嚢胞腎

### 他学会による査読意見

日本脳神経外科学会（学術委員会委員長 齊藤延人）

1. CQ2【解説】2. 疫学の 8 行目 (3 ページ)「優位」は「有意」の誤り

回答:ご指摘有難うございます。訂正いたしました

2. CQ2【解説】2. 疫学に一般的な動脈瘤破裂率について、最近の論文「NEJM 2012: 366; 26.」での日本人のデータがあるので参考にされたい

回答:本 CQ はあくまで ADPKD の動脈瘤に対してのものであり、一般的な動脈瘤はあくまでコントロールにすぎません。また NEJM は 2012/6 に発刊されており、文献検索期間からはずれています。したがって非常に重要なデータではありますが、参考論文とするのは次回以降の改定時とさせていただきます。

## 指定査読者の査読意見

花岡一成:東京慈恵会医科大学附属第三病院

CQ1 目標血圧についてコメントすることは可能でしょうか？

回答:【解説】に「3. 降圧目標」を追記しました。ADPKD に対する目標血圧として具体的な値を示すエビデンスはありません。診療指針ではあくまで参考として日本高血圧学会が推奨する 130/80 mmHg を示しましたが、本誌は CKD ガイドラインであり他 CQ で一般的な CKD に対しての参考値としてその旨記載されています。したがって ADPKD に限った降圧目標を具体的に示すことができなければあえて具体的な値を示すことは混乱を招くと考え記載しませんでした。

CQ1 【解説】2. 降圧薬の種類 RCT をランダム化比較試験に変更

回答:変更しました

CQ2 未破裂動脈瘤の経過観察の間隔についてコメント可能でしょうか？

回答:分科会で作成した診療指針では 3~5 年に 1 回の頭部 MRA 検査が推奨されてましたので、同様の記載を【解説】1. 結論に追記しました。

CQ2 治療に難渋し、抗生剤の種類や投与方法を変更しても効果が認められない場合には、治療として嚢胞穿刺ドレナージを行う必要があることに言及してはいかがでしょうか。

回答:【解説】5. 感染症治療の実際に、ドレナージについてはコメントがありますので、本 CQ の内容からこれ以上のドレナージについての記載は不用と考えました。

CQ2 【解説】2. 疫学 メタアナラシスをメタアナリシスに変更

回答:変更しました

CQ2 【解説】3.ADPKD の 脳動脈瘤スクリーニング 動脈瘤の破裂が正しい

回答:変更しました

CQ2 【解説】 5. 感染症治療の実際 「ニューキノロン系抗菌薬 以外 の抗菌薬を選択する方が好ましい」を「選択することも考慮すべきである」の方が良い

回答:変更しました

CQ4 【背景・目的】s-Cr より腎機能、正常値より正常の方が適切

回答:変更しました。

CQ4 【解説】 1. 結論「腫大した腎臓や急速な容積の増大を認める症例では腎機能障害が進行することが示されている。」の方が適切ではないでしょうか

回答:「巨大な腎臓や急速な容積の増大を認める症例では腎機能障害が進行することが示されている」に訂正しました。

CQ4 【解説】4. 腎機能と腎容積⇒腎機能と腎容積の関係、疾患が進行していることが想像される⇒腎障害が進行していることが示唆される

回答:訂正しました

土谷 健:東京女子医科大学

CQ1 目標血圧についてコメントすべきである

回答:【解説】に「3. 降圧目標」を追記しました。ADPKD に対する目標血圧として具体的な値を示すエビデンスはありません。診療指針ではあくまで参考として日本高血圧学会が推奨する 130/80 mmHg を示しましたが、本誌は CKD ガイドラインであり他 CQ で一般的な CKD に対しての参考値としてその旨記載されています。したがって ADPKD に限った降圧目標を具体的に示すことができなければあえて具体的な値を示すことは混乱を招くと考え記載しませんでした。

CQ2 【解説】2. 疫学 メタアナラシスをメタアナリシスに変更

回答:変更しました

CQ3 【解説】5. 感染症治療の実際 ニューキノロン系抗菌薬が効果があった場合には継続投与するのではないのでしょうか？

回答:以下のように変更しました。「ニューキノロン系抗菌薬耐性菌が多く見られる施設や、以前にニューキノロン系抗菌薬耐性菌が検出された患者では、嚢胞感染症であっても、ニューキノロン系抗菌薬以外の抗菌薬を選択することも考慮すべきである。」

CQ4 【解説】1. 結論 急激な増大というより増大速度の速い症例ではないでしょうか？

回答:「巨大な腎臓や急速な容積の増大を認める症例では腎機能障害が進行することが示されている」に訂正しました。

CQ4 【解説】2. GFR⇒腎機能、急速に増大している⇒腫大速度の速い、急速な⇒早期の方が適切

回答:変更しました。

CQ4 【解説】3. 腎容積および腎嚢胞容量 MRI により短期間での腎サイズの評価が可能となった旨記載してください。

回答:「6 か月で」⇒「6 か月の短期間で」に変更しました。

